

2021年度 第2回「放送倫理・番組向上機構」理事会 議事録

1 日時 2022年3月7日（月） 午後1時～1時40分

2 場所 千代田放送会館会議室（オンライン併用）

3 出席者 大日向 理事長
渡 辺 専務理事
畑 野 理 事・事務局長
岩 田 理 事（オンライン）
山 極 理 事（オンライン）
正 籬 理 事
皆 木 理 事（オンライン）
永 原 理 事
佐々木 理 事

.....
北 川 監 事
本 橋 監 事

※委任状提出 出 口 理 事

4 議題

- (1) 2022年度 事業計画・収支予算について
- (2) 3委員会委員の選任結果について
- (3) その他

5 配付資料

- (1) 2022年度 BPO事業計画（案）
- (2) 2022年度 BPO収支予算書（案）
- (3) 2022年度 BPO収支予算書（案）＜経常増減の部＞の概要
- (4) 3委員会委員の選任結果について
- (5) BPO 3委員会委員一覧

.....
<参考資料>

- ◆BPOパンフレット
- ◆放送倫理・番組向上機構 規約
- ◆BPO評議員・役員一覧

6 議事内容

BPO規約第15条第2項に基づき、大日向理事長が議長として開会を宣言した。

議長からの求めにより、畑野理事・事務局長が「理事総数10名のうち、オンラインおよび委任状提出を含め、理事全員が出席していることから、BPO規約第15条第3項に基づき、本理事会は有効に成立する」旨を報告し、議長が会議の成立を宣言した。

続いて畑野理事・事務局長から資料についての説明があり、議事に入った。

議題(1) 2022年度事業計画・収支予算について

畑野理事・事務局長から、2022年度事業計画案について、次のとおり説明があった。

- 新型コロナウイルス感染状況をみつつ、オンライン開催のメリットも最大限生かしながら、委員会等各種会議・イベント等の活動を円滑に実施する。
- 放送倫理検証委員会は、東日本大震災から11年を経た東北地区で、対面での意見交換会開催をめざす。対面開催で地方放送局とのつながりを深める機会としたい。
- 放送人権委員会は、2021年度に委員の半数が入れ替わったことから、全委員が在京キー局を訪問する機会を設け、放送現場を知り、制作スタッフと意見交換できる場としたい。また、2023年度に判断ガイドを更新するための準備を進める。
- 青少年委員会は、中高生モニターとの意見交換会をオンラインまたは対面で開催する。新たな調査研究についてテーマを決め、活動を進める。
- 視聴者意見はBPO活動の起点であり、引き続き、電話、Eメール、FAX、郵便での受け付けを継続する。
- 視聴者に広くBPOを理解してもらうため、告知スポットの放送を加盟各社に続けてもらうとともに、意見交換会等を通じて放送現場への理解促進に努める。
BPOウェブサイトの英文ホームページも一層の拡充を進める。
- BPO設立20周年に向けて、外国の放送自主規制機関をはじめとする国際交流活動を進めていく。

以上の説明を受け、次の意見交換があった。

- ・コロナ禍が続くなか、2022年度もオンラインを使いながら活動を続けていくことはもっともで、これが日常であることと覚悟を決めて事業を進めてもらいたい。視聴者意見の電話受付についても、自宅からでも対応できるような環境をつくってもらいたい。

- ・(渡辺専務理事) 電話対応システムがうまく構築できるかどうかも含めて検討してみたい。
- ・放送人権委員会の判断ガイドを、紙媒体だけでなく、オンラインで見られるように検討してもらいたい。
- ・(畑野理事・事務局長) 承知した。

渡辺専務理事から、2022年度収支予算案について、次のとおり説明があった。

- 2022年度予算は収支均衡予算としたことが最大の特徴である。
- 経常収益は4億510万円で、ほとんどが受取会費である。
- 経常費用は4億500万円。内訳は事業費2億9千600万円、管理費1億1千440万円である。
オンライン会議の活用等による経費節減や取り扱い想定事案数の平均値適用などにより収支均衡とした。予備費を設けなかったため、決算時に赤字決算をお願いすることもあり得る。
- 以上により、期首および期末の正味財産残高を1四半期分の費用に近い1億1千万円と見込む。

以上の説明を受け、次の意見があった。

- ・過去数年は赤字予算を組まれていたが、今回、細かくすべての事項が見直されていて、必要な事項には予算付けすることが徹底されており、適正な予算だと思う。

以上の意見交換の後、2022年度事業計画案と収支予算案の承認について賛否を諮ったところ、全会一致で承認された。

議題(2) 3委員会委員の選任結果について

渡辺専務理事から、2022年4月からの3委員会委員の選任について次のとおり報告があった。

昨年10月20日に2021年度第2回評議員会を開催し、委員の再任と新任委員候補について承認を受けた後、新任委員候補との交渉については遠山評議員会議長と事務局に一任された。その交渉結果を10月24日に評議員に報告して2022年4月からの3委員会委員の選任が確定した。

放送倫理検証委員会は、1委員が退任し、3委員が再任、新任委員はいない。
放送人権委員会は、1委員が再任され、1委員が新任となる。

青少年委員会は、1 委員が退任し、2 委員が新任となる。

議題(3) その他

渡辺専務理事から「BPOをめぐる最近の動向」について、また畑野理事・事務局長から「BPOの3委員会の最近の活動」についてそれぞれ報告があり、意見交換を行った。

最後に議長である大日向理事長から「本日いただいた貴重な意見を、BPOの運営や予算執行に生かしていきたい」との発言があり、すべての議事を終了し閉会した。

以上